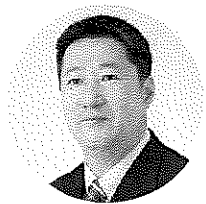


アイメイドアルファ



荻野健
社長

アイメイドアルファ（東京都新宿区）は、同社が提供する講座を受講した22名の特定技能外国人のうち、21名が第35回介護福祉士国家試験に合格したと発表した。

同社は外国人材紹介や日本語教育を手掛けているが、特に外国人向けに構築した介護福祉士試験対策講座に強みを持つ。

過去10年の国試問題を独自に分析し、外国人が苦手とする分野を徹底的に克服するカリキュラムを用意。勉強の進捗に合わせた約200本の科目別動画で、時間と場所に捕ら

われず全体像を学ぶ。毎週1回、専任講師によるオンライン授業で理解を深めていく。

「残念ながら不合格だった受験者1名も後1問正解していればというラインだった」（荻野健社長）といい、受講生全体の底上げも進んでいる。

今回、介護福祉士国家試験には7万9151名が受験し、6万6711名が合格（合格率84・3%）。過去最高の合格率となったが、アイメイドアルファの外国人受講生はこれを大幅に上回る95%となった。

「これまで多数の外国人介護人材を高年齢者施設に紹介してきた。引き続き、介護に対する理解、仕事に対する意欲のある外国人材を輩出していきたい」（荻野社長）